

抽出方法に依る第 1 回国勢調査の概観』(内閣統計局、大正 13 年)

日本経済統計情報センターは一橋大学経済研究所の世界に誇るべき研究成果である『長期経済統計』を作成するにあたって収集された各種の政府統計報告書を保管し、『長期経済統計』刊行後に出た政府統計報告書も継続的に収集している。

主要な政府統計報告書を収集している大学図書館、研究機関は数多く存在するが、当センターでは、その周辺情報にあたる統計、政府内部の検討資料等についても収集しており、そのカバーする範囲、内容に関しては他に類を見ないコレクションとなっている。

一例を挙げると、政府統計の基礎になる『国勢調査』については第 1 回(大正 9 年)からの公刊資料が揃っているだけでなく、『抽出方法に依る第 1 回国勢調査の概観』(内閣統計局、大正 13 年)などの資料が保存されている。当時は、今日のようにコンピュータ化されておらず、全て手作業で集計されていたために、公式統計の公刊までに相当の年月を要した。しかし、その間にも国勢調査の概要を知りたいという要請が各方面からあり、統計局で、1000 分の 1 抽出を行って、そこから母集団の属性を推測するという試みを行ったのが本資料である。これは当時の統計理論の水準を知る上でも参考になるし、その後の国勢調査速報の計算方法の基礎ともなっている。

平成 13 年 2 月